

# サンディエゴ日本人教会トピックス【2017年1月】

2017年も早2月を迎えました。サンディエゴの朝夕もかなり冷え込み、近くの山々では雪景色が見られます。記録的な雨が降り続けた日もありました。以後、毎日、晴天に恵まれ、健やかな日々を感謝しています。お正月気分もすっかり抜け、新年聖会のお恵みを、CDで聞き返しながら、夏の修養会へ向けての準備をしつつ、「今年もいっしょに行こうね」などと分かち合いながら、各自は集会に励んでします。その後、皆さんいかがお過ごしですか。神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

1. 日英合同元旦礼拝
2. 洗礼祝い会と町田哲哉兄の証
3. 新しい賛美が生まれました（6）井上智子姉

## 1. 日英合同元旦礼拝

2017年1月1日（日）は日英合同で元旦礼拝を捧げました。「主にあって、あけましておめでとうございます！」のご挨拶が飛び交う中、礼拝堂の入り口には、美しい和服姿も見られ、笑顔のグリーターが来会者を迎え入れ、心温まる元旦の朝を迎えました。

大倉信牧師は、「人生の秘訣は一つしかない」と題してメッセージを取り次いでくださいました。先生は「この一つのことだけをもってお帰り下さい」と語り、優先順位の大切さを紐解いてくださいました。年を始めるに当たり、心に沁みる大切なメッセージに、一同感謝しました。

『あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。悪しき日が来りて、年が寄って「わたしにはなんの楽しみもない」と言うようにならない前に、また日や光や、月や星の暗く

ならない前に、雨の後にまた雲が帰らないうちにそのようにせよ』(伝道の書 12 章 1 節 - 2 節)

「イスラエルよ、今、あなたの神、主があなたに求められる事はなんであるか。ただこれだけである。すなわちあなたの神、主を恐れ、そのすべての道に歩いて、彼を愛し、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主に仕え、また、わたしがきょうあなたに命じる主の命令と定めとを守って、さいわいを得ることである」(申命記 10 章 12 節 - 13 節)。

このメッセージの全文は、教会ホームページに掲載されています。

教会ホームページ → 日本語ページ → メッセージ一覧を見る → 大倉信牧師のメッセージ → 1月1日「人生の秘訣は一つしかない」です。どうぞお開きくださいませ。

【 教会ホームページ URL : <http://www.sdjcc.net/> 】

## 2. 洗礼祝い会と町田哲哉兄の証

受洗おめでとうございます！

1月15日(日)礼拝の後、昨年2月にイスラエルのヨルダン川で洗礼を受けられた町田哲哉兄の受洗祝い会を持ちました。町田兄は、大倉信牧師の引率するイスラエル旅行に日本から参加されました。救いのお証を掲載いたします。

### 証：町田 哲哉兄

私は、昨年の6月、30年勤めた日本の会社を退職し、8月から家族のいるサンディエゴに戻り、現在グリーンカードの申請中です。SDには、先の会社から派遣され1992年から2007年までの約15年駐在しておりました。といっても、SD教会ではまだまだ新参者で、町田かおりさんのご主人、または慶太くんのお父さん、という方が分かりやすいでしょうか。

私は昭和 32 年、西暦 1957 年、茨城県の日立市で生まれました。両親は、ともに長崎県の出身で、父は、隠れキリシタンで有名な生月島の生まれです。

今年還暦を迎える私と神様との最初の出会いは、今から半世紀ほど前に遡ります。私が通うキリスト教系の幼稚園のクリスマスの祝会で“神の子イエス誕生”の聖書箇所を園児や父兄の前で暗唱する者に、その当時平仮名もろくに読めない私が選ばれ、便箋 2 枚にも渡る長文の原稿を手渡され、途方にくれたことを今でも覚えています。

しかし、祝会ではあの長文を水が流れるごとく、すらすらと暗唱できたのです。本当に不思議な出来事でしたが、これは、自分の努力で叶ったものではなかったことを、今は確信しています。

なお、先月、SD 教会のキャンドルライト・サービスで同じ聖書箇所の朗読に私が指名されたのは、単なる偶然でしょうか？次の神様との出会いは、今から 30 年ほど前になります。結婚した相手（かおり）がクリスチャンだったので教会で永遠の愛を誓いました。

しかし、この時私の心は幸福で満たされていましたが、神様を迎え入れることはありませんでした。結婚の後 20 年、家庭のことは全て家内に任せ、私は仕事に没頭しました。幸か不幸か、この間私は至って健康で、経済的にも恵まれ、仕事も充実していたので、物理的にも精神的にも神様に救いを求めることはありませんでした。

そんな私が、SD 教会の日曜礼拝に、家内と共に出席するようになったのは、2006 年の秋頃でした。礼拝への出席は、夫婦の関係を修復するのが目的でした。半ば家内から強要されての出席でしたが、語られるメッセージは私がそれまで接してきた世界では見聞きしなかった事柄や考え方で、大変新鮮で興味深いものでした。また、メッセージはその時々私自身が抱えている悩みや問題にマッチしたものが多く、まるで誰かに私の腹の内を見透かされているようでした。

日曜礼拝に出席するようになって一年ほどが過ぎた 2007 年の秋、インド駐在の辞令を受けました。単身 SD からインドに出発する朝、当時家に引きこもり気味だった慶太に「私の代わりにママと一緒に礼拝に出て欲しい」と言い残し旅立ち、その 3 ヶ月後、慶太は私が発った翌週から欠かさず日曜礼拝に出席していることを家内から聞かされ、正直安堵したのを覚えています。この時期、われわれ両親に代わり慶太を心身ともに支えてくださった SD 教会の兄弟姉妹の皆様に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、私が2014年から2年ほど駐在したインド南部に位置するチェンナイ（旧マドラス）は、イエスの12弟子のひとりであるトマスが西暦52年に到着し、72年に殉教した場所でもあります。この町で私が一番好んで訪れた場所は、チェンナイ市内とその先のベンガル湾が一望できる高台に建つ、聖トマス教会でした。そして、同教会でトマスが原住民に虐殺される絵を見るたびに湧きおこる疑問は「何が、狂気ともいえるこの未開の地での布教活動にトマスを駆り立てたのか？」でした。7年半にわたるインド駐在期間中は、U-Streamの実況放送でSD教会の日曜礼拝に参加し、クリスマス休暇にはSDに戻り家族とともに礼拝に出席していました。

そして、2015年の年末、大倉先生に「町田さん、そろそろ、洗礼を受けては如何ですか？」と問われた私は「まだまだ、勉強不足です」と答えると、先生は「勉強に終わりはありませんよ」と言われ、私は、過去に読んだ三浦綾子さんの小説の中に「イエスの復活を信じるだけで永遠の命が与えられるのなら、何も失うものはないのだから、これほど得な事はない」というような一文があったのを思い出し、大倉先生に「では、よろしく、お願いします」と軽い気持ちで答え、2015年12月31日、主イエス・キリストを私の救い主として受け入れ、今年の2016年2月20日ヨルダン川で洗礼を授けていただきました。

この洗礼式からもうすぐ一年になりますが、この間私の心の中には正直何の変化も見られないどころか、SDに戻った今年の8月以降、夫婦および親子の関係は日増しに悪くなるばかりでした。しかし昨日、このお証を書くなかで、自分の内側を見つめ直し、これまでの人生を振り返ってみると、家庭内で起こる問題の多くは、私の言動や態度から端を発したものでした。

私という人間は、自分の心の内を人に明さない、自分以外の人を愛せない、自己中心的で、考え方は非常に短絡的（物事を深く考えません）なのに、人の上に立つことを好み、俗世の快楽を好む、虚栄心が強く、傲慢で、それでいて、優柔不断、怒りやすく、人生に目標なく、そこにあるのは虚無感だけ、それに反して死を異常なほど恐れる、実に憐れむべき人間であることに気づき、失望しました。なお、これらの多くは、過去に何度も家内に指摘されていたものでした。

次に、これらの性格がゆえに私は、本来守ってやらねばならない家内と子供達を、精神的に傷付け、困惑させ、不安がらせてきた、最低の夫であり、父親です-と加えた一文を読み返した瞬間、目から涙が溢れ“神様、今までの自分をどうかお許してください”と心の中で繰り返し、繰り返し叫んでいました。もし今回、このタイミングでお証の場が与

えられていなければ、自己を見直す事もなく、きっと同じ過ちを繰り返していたことでしょう。この素晴らしい神の御計画とお恵みを、こころより感謝します。

最後に、ガラテヤ人への手紙 第2章 20節をもって私のお証を閉めさせていただきます。「生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである」

このみ言葉に従い、神に自分を明け渡し、これからの一日一日を大切に、そして丁寧にキリストとともに生きて行きたいと思えます。さらに、キリストにあるSD教会の兄弟姉妹との交わりの中で、共に成長させていただきたいと願っています。

#### 4. 新しい賛美が生まれました (6) 井上智子姉

毎月一回サンディエゴ教会の賛美チームは、賛美練習のときを持ちます。その月の礼拝賛美のスケジュールを決めたり、新しい賛美の練習をしたり、楽器を合わせたり、陰にあって大切な教会奉仕の一端を担っています。

賛美リーダーである井上智子姉の新しい詩が生まれました。チームの方々の協力で、礼拝で彼女がソロ又はジュエットで歌ってくださったり、会衆賛美として紹介されたり、賛美の素晴らしさをシェアしていただきます。ここに新しく生まれた賛美 (6) をお送りします。

「愛と希望のメロディー」

"The Melody of God's Love and Hope"

青い空 ひかる海  
イエスの 御手の中で  
悲しみが 空のかなたへ  
消えてゆく

In the blue sky, in the shining ocean  
The mighty hands are wrapping around me  
Sorrows in my heart and the tears on my cheeks  
Are fading into the sky

しおかせ 寄せる波  
イエスの 愛に包まれ  
喜びが からだじゅうに  
あふれでる

In the sea breeze, in the surging wave  
God's love is wrapping around me  
The overflowing joy is coming up  
All over me

乗り越えられない 試練はない  
主を見上げ 信じて  
歩んでゆこう  
イエスは生きてゆく 力を与える  
愛と希望のメロディー  
世界中かけめぐる

There is no trial that you cannot conquer  
Look up to the Lord and believe in Him  
Let's walk together in faith  
Jesus gives us the power to live for tomorrow  
The melody of God's love and hope  
Will travel all over the world

イエスは生きてゆく 力を与える  
愛と希望のメロディー  
あなたへ届くように

Jesus gives us the power to live for tomorrow  
The melody of God's love and hope  
Will come to you with great joy and peace

ラッドとし子